横須賀市ひきこもり支援連携協議会「活動紹介」

特定非営利活動法人アンガージュマン・よこすか 理事長 島田徳隆



本日の流れ

- アンガージュマン・よこすかについて
- 実施プログラム
- 活動の具体例
- 課題
- 成功事例



アンガージュマン設立の目的

・ 学校に行っていない子どもとその家族を支援 するさまざまな活動を中心に学校外での学習 及び交流を求める若者の成長と自立をうなが し、子ども・若者とその家族、市民が共に自分 らしく生きていける環境を模索し、この実現に 寄与する



沿革

- 1998年 不登校の子を持つ親の会(ボランティアグループ未来)開始
- 2004年 NPO法人設立 フリースペース・学習サポート開始
- ●2005年 就労支援開始
- 2006年 就労支援店舗 はるかぜ書店開店
- 2012年 子ども若者育成・子育て支援功労者 内閣 府特命担当大臣表彰受賞
- ●2013年 かながわ子ども・子育て支援特別賞
- ●2015年 横須賀市市民表彰
- № 2015年 | 認定NPO法人に認定

主に実施している事業

●フリースペース

●学習サポート

●就労支援

●相談





フリースペースあばうと



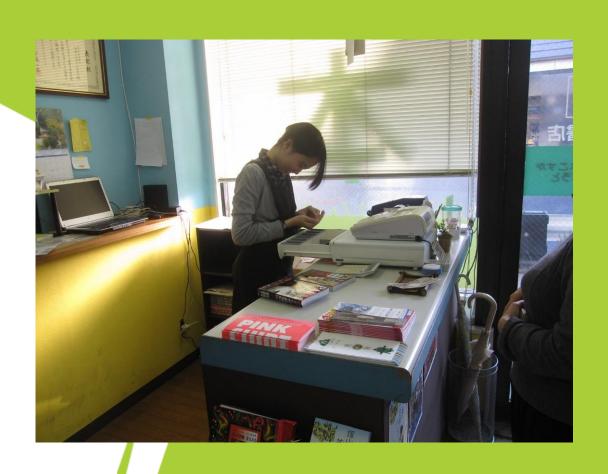
- ありのままの自分を 受け入れる
- 「きっかけ」作り
- 自由な空間、時間、 仲間作り

学習サポートネクスト



- 自己肯定感を高める 学び
- 1対1の個別指導
- 学習の機会を提供

就労支援



- ●はるかぜ書店 での研修
- ●社会参加の きっかけ作り

特色



- ●上町商盛会との取り組み
- ●行政との連携
- 医療と福祉との連携

実施しているプログラム

- フリースペース
- ・安心して過ごす場の提供
- ・課外での体験
- 学習サポート
- ・一対一の学習
- 就労支援
- はるかぜ書店の運営



活動の意義

- フリースペース
- 再スタートするためのエネルギーを充電(休む)
- 同じ体験をした人との出会い
- 異年齢の交流
- 学習サポート
- 「分からない」と言える環境→出来るようになるこ とで自信
- 一人一人に合った学びの提供
- 信頼できる大人(ロールモデル)との出会い



活動の意義

- 就労支援
- お店を運営する経験を得る
- お客様 仲間とのコミュニケーション
- ・限界を知る。休むことも重要



不登校とひきこもりの課題

●支援(機関)につながりにくい

●相談しても意味がない

●相談(誰かを頼った経験)がない



成功事例

- ●社会復帰(進学)
 - 1年不登校後、受験し高校へ
 - ・高校進学後就職→大学進学へ
- ●社会復帰 (就職)
 - 1年間就労支援→就労継続支援B型へ
 - 2年間就労支援→一般企業へ



お疲れ様でした。



